

花輪線におけるサイクルトレインの 取り組みについて ～花輪線利用促進協議会との連携～



東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社 盛岡統括センター

○JR東日本 サイクルトレイン企画・運営の基本的な考え方

【サイクルトレイン企画・運営の背景】

- ・ サイクルツーリズムに対する関心の高まりから、**自治体等からのサイクルトレインの設定要望が増加**
- ・ 当社の持続的な成長のためには、**新たな利益の獲得**が必要

【企画・運営の基本的な考え方】

- ・ サイクリストをターゲットとしたサイクルツーリズムの推進に資する施策について、**安全性、地元の協力、事業性の観点において統一的な基準**に基づき企画・運営
- ・ サイクルトレインの設定にあたっては、**列車の秩序の維持や安全運行が前提**
- ・ サイクルトレインの設定自体を目的とせず、**設定を通じて当社が新たな利益の獲得ができるスキーム**を構築

【定義：JR東日本のサイクルトレイン設定の目的】

- ・ 地元自治体等からの要請に基づく**サイクルツーリズム推進への協力による沿線活性化**
- ・ サイクリストの移動需要の新規取り込みによる**新たな利益の獲得**

○花輪線サイクルトレイン実証実験概要

□実施時期：2024年10月1日～2024年10月31日（1か月間）

□実施区間：北森駅～鹿角花輪駅

□対象列車：下り 1931D 北森駅 13:20→鹿角花輪駅14:31

上り 1934D 鹿角花輪駅14:32→北森駅 15:44 計2本

□実施にあたっての役割分担

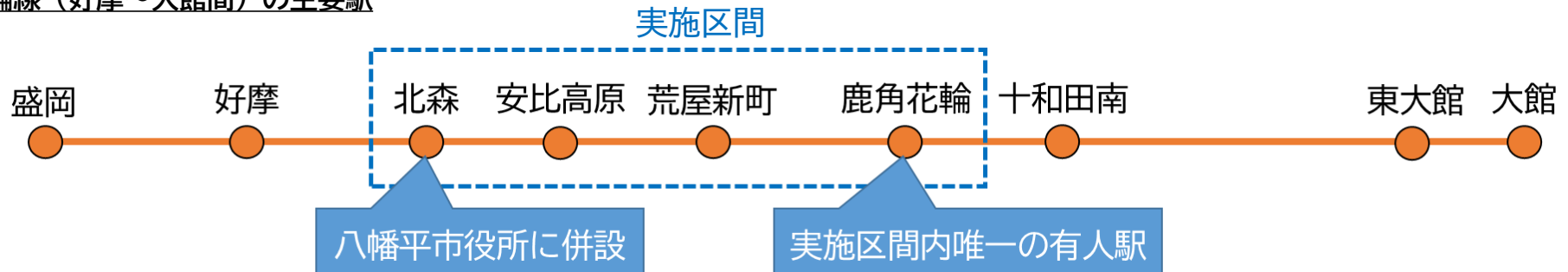
○自治体の役割

- ・実施主体（花輪線利用促進協議会）
- ・受付システムの開発
- ・広報活動（車内秩序維持目的の内容を含む）
- ・サイクリングコースの策定
- ・観光事業者との調整（窓口業務の調整）

○JRの役割

- ・列車の運行及びJR関連会社等と情報展開及び連携

花輪線（好摩～大館間）の主要駅



○実施にあたっての地元との連携

八幡平市を中心とした、花輪線利用促進協議会は以下の取り組みを実施

- ・利用規約に整合する予約システムの構築、運用（予算措置は八幡平市）
- ・5/29(水)試運転列車での検証試験等におけるスタッフ手配（約30名）
- ・沿線のレンタサイクル業者との連携
- ・行程の拠点となる自動車駐車スペース（八幡平市役所駐車場）の提供
- ・調整会議等における会議室（八幡平市役所）の提供
- ・プレス、広報活動



検証試運転事前打合せ（場所：八幡平市役所）



予約システムの構築（八幡平市負担）

○実施までのステップについて

1. 試運転列車による検証

2. モニターツアーの実施
（地上のみ）

3. 実証実験の実施

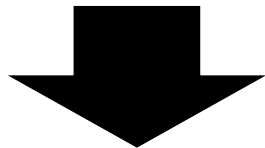
1. 試運転列車による検証

<試運転の目的>

- ホーム段差測定及び急制動試験、ホーム許容量の確認等安全に関するもの
- 車内における、自転車積載能力の把握及び乗降における時分測定
- 鉄道施設及び車内オペレーションに関する影響把握



サイクリスト17人、自転車17台、一般乗客・スタッフ30人が分散乗車（2両）を行うことで無理なく乗車可能であったことから、仮に30名乗車の列車へサイクリストが10名以上乗車した場合でも、一般のお客さまの利用を阻害せず対応可能であることは検証済、また、急制動を実施した際も固定具は使用しなくとも問題がないことを確認



普段ご利用されているお客さま及びサイクルトレインでご利用するお客さまも安全にご乗車できることが重要

2. モニターツアーの実施(地上のみ)

<モニターの目的>

○サイクリングコースの策定

○地域の魅力発掘

○サイクルトレイン利用を想定した、駅周辺の導線確認

○自転車活用推進者(自治体関係者)への体験研修・サイクルトレイン活用のイメージ作り

レンタサイクルを活用し
復路は自転車を返却
手ぶらで列車に乗車



七時雨体験施設



七時雨山荘入口



ふうせつ花



麴屋もとみや



不動の滝



モニターツアーにおいては、八幡平市のコースを実際に体験することで、「サイクリングが楽しい」という感動とともに、新規サイクリングコースの作り方(名所や名物、休憩所等を取り入れること)を学ぶことができたことと、実証実験時は、八幡平市2コース、鹿角市1コースをHP上で紹介した。

3. サイクルトレイン実証実験開始(10/1~10/31)

【サイクルトレインの予約方法について】

※予約システムの画像はイメージです

第1条（規約の適用）

1.1 本規約は、当社が運営する本サービスを利用する全ての利用者に適用されます。

2.2 利用者が、本規約に同意しない場合には、本サービスを利用できません。

規約に同意するには
お名前、電話番号を登録して頂く
必要があります。

以下のフォームに記入し、同意後
予約画面に移ります。

お名前
八幡太郎

電話番号
090-1234-5678

同意して登録する

同意しない

予約する

上り線

下り線

予約する
日付
2024年3月4日

乗車駅
北森駅(13:20)

降車駅
荒屋新町(13:50)

サイクルトレインの主な利用目的を教えてください。

☐サイクリング
☐観光二次交通
☐通勤・通学
☐買い物
☐外食
☐規制・友人知人訪問
☐その他

お住まいを教えてください。

▼ 北海道
年齢を教えてください
▼ 28

下記の内容で予約しますか？

名前：八幡太郎
電話番号：090-1234-5678
日付：2024年3月4日
下り線
乗車駅：北森駅（13:20）
降車駅：荒屋新町（13:50）
目的：1番
お住まい：北海道
年齢：28歳

内容を確認して申し込む

修正する

予約が完了しました
登録したメールアドレスに確認
メールを送信しました。

北森→荒屋新町

2024年3月4日
13時20分出発～13:50分到着

八幡太郎

1931D

【実証実験の様子】



必要により乗務員が予約状況を確認

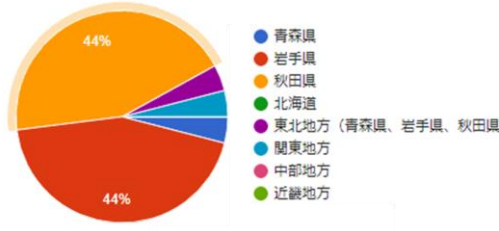
3. サイクルトレイン実証実験開始(10/1～10/31)

【ご利用日・ご利用者の居住地】

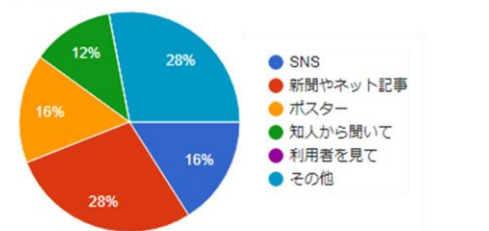
【アンケート(抜粋)】

10月	サイクルトレイン実証実験利用(予約)状況					
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		5名(鹿角:1、平川2、盛岡1)	5名(観光事業者:5)			1名(大館:1)
6	7	8	9	10	11	12
1名(鹿角:1)			1名(八幡平:1)	4名(盛岡:4)		3名(二戸:1、八幡平:2)
13	14	15	16	17	18	19
3名(鹿角:2、八幡平:1)	1名(盛岡:1)		3名(鹿角:3)	2名(盛岡:2)	1名(大館:1)	
20	21	22	23	24	25	26
1名(鹿角:1)	1名(鹿角:1)			2名(八幡平:2)		4名(東京:2、鹿角:1、八幡平:1)
27	28	29	30	31		
6名(盛岡:1、八幡平:4、鹿角:1)				5名(観光事業者:4、盛岡1)		

お住まいの地域を教えてください
25 件の回答



サイクルトレインを知ったきっかけを教えてください
25 件の回答



利用傾向としては地元利用が多いこととSNSやネット記事等で知得する傾向にある

【自由記載への回答】(回答数22名)

- ・時間帯、対象本数の拡大について 10件
- ・期間の拡大について 6件
- ・区間の拡大について 4件

<ご利用者からの主なコメント>

- ・復路は列車乗車でプランを作れたので、鹿角市から安比の山越えを達成できた。
- ・下り列車の時間に合わせて、計画を立てた。今日は10時から漕いだが、もっと走りたい場合は、8時ごろからスタートしたいと思う。
- ・モデルルートは参考になった。もっと紹介してほしい。

○実施後のトレース

■利用実績 : 予約49台➡乗車44台 (予約者の利用率90%)

※ 想定 (20~40台) を若干上回る利用があった

■利用者属性 : 岩手県・秋田県在住の40~50代男性がメイン

乗車駅までの移動手段は自家用車と自転車が半々
個人利用が6割以上、同行者ありは3割程度

■収支状況 : 約2.5万円の運賃収入 (その他グループ会社への広告収入あり)

※ 収入 : 44名×運賃単価約600円=約2.5万円

※ 支出 : なし (既存の定期列車・既存設備を活用、宣伝は花輪線利促協が実施)

■安全性等 : 車内及び駅でのトラブルなし

※ 輸送障害 (遅延・運休) もなかった

・花輪線の利用促進を目的に実施した。期間中、1.42人/日のご利用があったが、利用促進に効果があった数値かどうかは評価が難しいところである。

・利用者からは、「安比の山越え往復は躊躇するが、片道自転車片道列車で使える」「安比の自然を楽しめる」などサイクルトレイン設定を評価する意見があった。



今後の花輪線サイクルトレインについては、トレース結果をもとに、関係者と実施目的やねらい、実施概要、継続的な運営方法について協議を進め、実施の可否を検討する。 8